

「第7回高知県渋滞対策協議会」の開催について

平成17年10月31日(月)、国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所にて第7回高知県渋滞対策協議会を開催致します。

高知県渋滞対策協議会は、高知県の交通渋滞解消、円滑な交通流確保、施設整備計画、輸送効率向上、交通需要マネジメント、マルチモーダル施策を併せて行い、公表するとともに渋滞対策を推進することを目的として平成5年から2年に1回程度の頻度で開催されています。

また、現在我が国では京都議定書に基づいてCO₂排出削減目標の確実な達成を目指して、道路政策のうち2012年までに実施する緊急的な政策が「CO₂削減アクションプログラム」としてまとめられようとしています。この「CO₂削減アクションプログラム」のなかでは「渋滞がなくスムーズに走れる道路の実現」や「自動車交通の運用の効率化」といった項目があげられています。

今回の第7回高知県渋滞対策協議会ではこの中で「渋滞がなくスムーズに走れる道路の実現」の項目に注目し、高知県内の交差点の渋滞解消もしくは緩和を目的とした各種渋滞対策事業について、「CO₂削減アクションプログラム」に位置づける対象箇所の承認を行い、高知県内の渋滞に対する現状の取り組みと今後の対策について説明し、意見交換を行い、今後の事業に反映していきます。

協議会の開催日時、場所、予定議題は下記のとおりです。



国道55号(高知市高須新町付近、夕方)

記

1. 日 時 平成17年10月31日(月)13:30～15:00
2. 場 所 国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 第一会議室
3. 予定議題 (1)CO₂削減アクションプログラムの策定について
(2)平成17年度 業績計画書における渋滞対策について
(3)渋滞対策の検討について
(4)その他

平成17年10月25日

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所

問合せ先		
国土交通省	四国地方整備局	土佐国道事務所
副所長	岡田 芳樹	(内線204)
調査第一課長	秋山 慎吾	(内線451)
電話	088-884-0359 (代)	

高知県渋滞対策協議会委員名簿

議長	国土交通省	四国地方整備局	土佐国道事務所	所長	委員	高知県	警察本部	交通規制課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	高知河川国道事務所	副所長	委員	高知県	警察本部	交通指導課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	高知河川国道事務所	工務第二課長	委員	高知県	土木部	都市整備課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	中村河川国道事務所	副所長	委員	高知県	土木部	道路計画課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	中村河川国道事務所	調査第二課長	委員	高知県	土木部	道路安全利用課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	中村河川国道事務所	道路管理課長	委員	高知市	建設下水道部	道路建設課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	土佐国道事務所	副所長	委員	高知市	都市整備部	都市計画課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	土佐国道事務所	調査第一課長	委員	須崎市	監理課	建設課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	土佐国道事務所	調査第二課長	委員	四万十市	建設課	建設課長
委員	国土交通省	四国地方整備局	土佐国道事務所	管理第二課長				
委員	国土交通省	四国運輸局	高知運輸支局	輸送課長				
委員	西日本高速道路(株)	四国支社	高知工事事務所	所長				

道路政策における『CO₂削減アクションプログラム』の策定・実施

～ 京都議定書目標達成計画の着実な推進に向けて～

目標達成のため、道路政策によるCO₂排出削減目標を設定

2012年までに、主要渋滞ポイント約1,800箇所等を緊急対策



環七立体交差化前後での
国道357号の状況

背景・課題

京都議定書の発効及び京都議定書目標達成計画の策定

- ・目標達成（2008年から2012年の間に、1990年比-6%）のためには、より効率的な自動車交通を実現する道路政策の推進が必要不可欠
- 運輸部門におけるCO₂排出量の現状
- ・運輸部門でのCO₂排出量削減のためには、大きなウエイト（ ）を占める自動車からの排出量削減対策が急務

CO₂総排出量のうち、運輸部門の排出量は21%、その約9割が自動車からの排出量

ヒートアイランド対策大綱の策定

- ・「ヒートアイランド現象」が都市環境問題の一つとしてクローズアップされており、現象の緩和に向けた総合的な取り組みが必要不可欠

< 今後の課題 >

道路政策によるCO₂排出削減効果を明らかにするとともに、その体系的かつ着実な推進が必要

施策のポイント・効果

道路政策によるCO₂排出削減目標の設定

- ・CO₂排出削減を道路政策の大きな柱とし、京都議定書目標達成計画を着実に推進するために、2008年から2012年の中間年である2010年までに、約800万t-CO₂/年（ ）を削減
- 今後、2010年までに自動車交通需要の拡大とこれに伴う渋滞によるCO₂排出量の増加分（約800万t-CO₂/年）を解消
- 東京都、神奈川県、埼玉県のほぼ全域に植林する効果に相当

『CO₂削減アクションプログラム』の推進

～ 2012年までに緊急的な道路政策を実施～

渋滞がなくスムーズに走れる道路の実現

- ・環状道路等CO₂排出抑制効果の高い道路整備の重点化
- ・主要渋滞ポイント対策（約1,800箇所）
- ・ボトルネック踏切を含む踏切対策（約540箇所）

自動車交通の運用の効率化

- ・ITS（高度道路交通システム）の活用 等
- 人と車のかかわり方の再考
- ・エコドライブキャンペーン等の実施

道路空間の活用・工夫によるCO₂の削減

- ・道路緑化の質的・量的拡充
- ・保水性舗装など路面温度を低下させる舗装の導入促進
- ・道路空間における新エネルギー（太陽光・風力等）の活用 等

道路政策による地球温暖化対策具体的施策の体系図

道路政策における「CO₂削減アクションプログラム」

①人と車のかかわり方の再考

不要・不急の自動車利用を控える等個々人の自動車利用パターンの見直しを促進するため、地域住民等との見直しの動機づけになるようなコミュニケーションを実施する

公共交通の利便性を向上し、自動車交通から公共交通への転換を図る

アイドリング等のエコドライブを推進し、走行時の燃料の向上を図る

荷主・物流事業者と一体となって環境負荷の少ない貨物輸送を推進する

③道路空間の活用・工夫によるCO₂の削減

道路空間内の緑化を進めCO₂の吸収量の増大を図る

打ち水効果を高める保水性舗装等の導入を促進する

道路照明に太陽光・風力等を活用する等、道路空間における新エネルギーの活用を図る

②渋滞がなくスムーズに走れる道路の実現

都心部の渋滞解消等CO₂排出抑制効果の高い環状道路等を重点的に整備する

CO₂排出量の集中する主要渋滞ポイントの渋滞解消及びボトルネック踏切の除去を推進する

バイパス等の整備とその旧道や周辺的生活道路の車道幅員を減少させる等の措置をパッケージ化して進める

自動車交通をCO₂排出量の少ない高速道路へ一般道路からの転換を図る

渋滞の主要な原因の1つである路上工事を縮減する

④自動車交通の運用の効率化

都心部の渋滞解消を図るためロードプライシング・流入規制導入を検討する

ITS（高度道路交通システム）の活用等により道路交通情報の提供を充実する

渋滞の主要な原因の1つである違法な路上駐車をなくす